

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年12月 福島県立医科大学医学部産科婦人科学学講座 藤森敬也

【研究課題名】福島県立医科大学附属病院における悪性腫瘍合併妊娠の調査

【研究期間】2020年12月～2024年3月

【研究の意義・目的】

近年、分娩年齢の高齢化が進んでいます。そのため子宮頸がん合併妊娠、卵巣悪性腫瘍合併妊娠、血液腫瘍合併妊娠、その他悪性腫瘍合併妊娠の報告が散見されています。

これまで本邦の悪性腫瘍合併妊娠に関する調査としては、「妊娠に関連する悪性腫瘍調査2008」があります。この調査では2008年1月-12月までの悪性腫瘍合併妊娠について調査されたものであります。その結果、228例の悪性腫瘍合併妊娠がについて報告があり、子宮頸がんが162例(72%)(上皮内癌104例を含む)ともっとも多く、次いで卵巣がん16例(7%)、乳がん14例(6%)、白血病7例(3%)、大腸がん5例(2%)の順でした。

今後このような悪性腫瘍合併妊娠の増加にともない、これらの症例を集積することにより、妊娠中の診断方法、妊娠中の化学療法、児娩出のタイミング、産褥の治療介入のタイミングを系統化し、その周産期予後、新生児予後、母体予後の改善をはかることは重要な課題になると思われます。

今回の調査では、当院で管理された悪性腫瘍合併妊娠の診断方法、妊娠中治療方法、周産期予後、妊娠後治療法を後方視的に検討し、悪性腫瘍合併妊娠の管理の向上につなげることを目的としています。

【研究の対象となる方】

妊娠中に悪性腫瘍と診断され、2003年1月～2020年12月に当院で分娩された妊婦全員を対象とします

【研究の方法】

今回は、当院で管理された悪性腫瘍合併患者さんの

- ・母体背景(年齢、妊娠分娩歴、妊娠時年齢、経妊回数、経産回数、妊娠様式、前回分娩週数、過去の組織学的絨毛膜羊膜炎、直近早産の有無(過去複数回の妊娠の際、直近が早産であったかどうか))
- ・妊娠中背景・治療背景(妊娠中画像診断、妊娠中化学療法、胎児評価、抗菌薬投与の有無、切迫早産入院週数、頸管縫縮術施行有無、Antenatal Corticosteroid therapyの有無、羊水中 sludgeの有無)
- ・分娩結果(分娩週数、新生児体重、児、Apgar score(1分値、5分値)、臍帯動脈 pH、組織学的 CAMの有無、臍帯炎の有無)、母児の再発や、産後化学療法、長期予後を検討する予定です。

【研究組織】

	氏名	所属
研究責任者	藤森敬也	産科婦人科学講座
分担研究者	安田俊	産科婦人科学講座
分担研究者	山口明子	総合周産期母子医療センター
分担研究者	経塚標	産科婦人科学講座
分担研究者	菅野亜矢	産科婦人科学講座
分担研究者	村田強志	産科婦人科学講座
分担研究者	福田冬馬	産科婦人科学講座
分担研究者	渡辺尚文	産科婦人科学講座
分担研究者	添田周	産科婦人科学講座
分担研究者	古川茂宜	産科婦人科学講座
分担研究者	平岩幹	産科婦人科学講座
分担研究者	遠藤雄太	産科婦人科学講座
分担研究者	植田牧子	産科婦人科学講座
分担研究者	加茂矩人	産科婦人科学講座
分担研究者	今泉花梨	産科婦人科学講座
分担研究者	佐藤哲	産科婦人科学講座

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 経塚標
 電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
 E-mail:kyozuka@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
 公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 経塚標
 電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
 E-mail:kyozuka@fmu.ac.jp